



首都圏
自然歩道

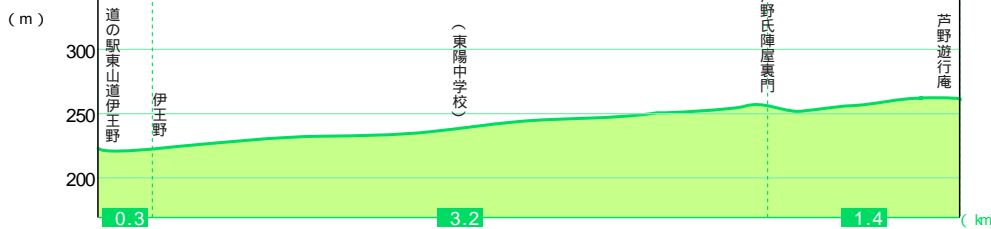
関東ふれあいの道

栃木県

35-1 芦野の里へのみち 4.9km

このコースは伊王野と芦野の間を結び、国道 294号に沿ったコースです。芦野氏の城下町で奥州街道の宿場でもあった芦野の地は、多くの史跡や文化財が残り、随所に見られる芦野石の構造物も相まって、江戸時代の雰囲気随所に感じることができます。

ルート標高

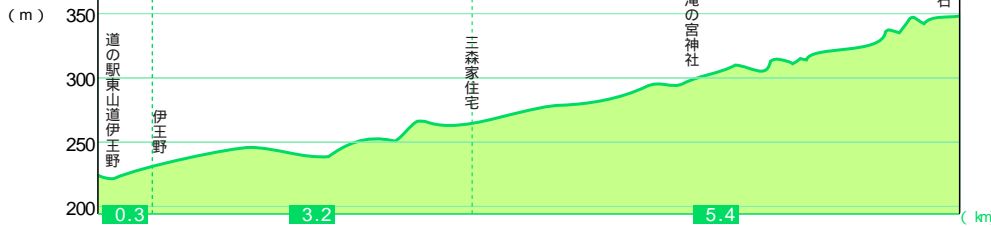


栃木県

35-2 義経伝説のみち 8.9km

このコースは源義経が鎌倉へ向かったと伝えられる古代の道「東山道」をたどります。周辺には判官清水、滝の宮神社、沓石などの義経にまつわる伝説の残る名所が数多く存在します。また箕沢地区には彼岸花が群生し、秋には赤い絨毯を敷き詰めたような風景を見ることができます。

ルート標高



問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当 ☎ 320-8501 宇都宮市埜田 1-1-20 TEL 028-623-3206
 栃木県東北環境森林事務所 環境企画課 ☎ 324-0056 大田原市中央 1-9-9 TEL 0287-23-6363
 那須町役場 観光商工課 ☎ 329-3292 那須郡那須町大字寺子丙 3-13 TEL 0287-72-6918

コース周辺の見所

35-1 踏破認定撮影ポイント



芦野氏陣屋裏門

江戸時代に芦野氏陣屋（御殿山）の北側にあった門を廃藩置県の際に大塩家が買い受けて現在の場所に移築したもの。向かって右側が中間部屋、左側が厩となっており、陣屋形式の造りを今に伝えている。町道に面しているので、撮影時は車に注意。



道の駅東山道伊王野

平成 12年にオープンした、国道 294号線沿いの道の駅。古代の街道「東山道（とうさんどう）」はここを通り、東北地方へと延びていた。直径 12メートルの巨大な水車がシンボルで、この水車の力で石臼挽きしたそばを食べることができる。



芦野遊行庵（遊行柳）

文明（1471年）の頃、尊踏上人が当地方巡化の時、朽ちた柳の精が老翁となって現れ、上人から十念と念仏札を授けられて成仏したという伝説の柳。以降、謡曲や紀行文などの多くに現れ、芭蕉もこの地で句を詠んでいる。「田一枚植て立ち去る柳かな」

35-2 踏破認定撮影ポイント



三森家住宅(長屋門)

江戸時代に名主兼問屋職を努めた三森家の住宅。母屋は享保 18年（1733年）の建築であることが判明している。昭和 43年に母屋と長屋門が国の重要文化財に指定された。（観覧日は土日、祝祭日の 9:00～16:00）



滝の宮神社

箕沢地区の田の一角にある小さな祠であるが、義経一行が立ち寄り、武運を祈ったとされている神社。かつて祠から三蔵川にかけて四ツ葉の葛が広がっていたと言われているが、現在は見あたらない。



沓石（くずいし）

義経伝説の伝わる大石。平家追討のため、鎌倉へ向かう義経の乗る馬がこの石を踏み、足跡が残ったとされ、石の上に馬の足跡のようなへこみがある。